

科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	電気電子4年	科目コード	47011271
科目名	コミュニケーション論 Communication Theory				
担当教員	小林 淳				
単位数(時間数)	選必 後期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応			
授業の目的と概要	「誰かのため」に技術者は創る。「誰かのため」という思いが大切で、その誰かと話をしなければ求めるコト・モノは創られない。自分の考えを論理明晰に伝え、相手の言う内容を聴き、精確に理解する双方向性が求められる。チームの仕事は、チーム内の信頼関係が築かれ、互いに相手への敬意が払われ、連携協働する素養も必要だ。コミュニケーション能力が必要とされる。こうしたコミュニケーションスキルを講義と演習を通して習得する。				
先修科目	現代社会				
後修科目					
備考	グループ演習が多いので欠席、遅刻は他履修者に迷惑をかけるため厳禁とする。毎回の授業出席が重要。学んだことを日常でも意識して活用実践することが望まれる。				
授業項目		時間	内容		
1	科目ガイダンス コミュニケーションとは	2	<ul style="list-style-type: none"> ・授業計画書の説明・質疑 ・コミュニケーションの基本的な考え方を学ぶ 		
2	自己のコミュニケーションについてのチェック	2	コミュニケーションの種相とチェックシートを用いての自己コミュニケーションチェック		
3	傾聴技法 Active Listening	4	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴とは その重要性 ・技法の実践(演習) 		
4	質問技法	4	<ul style="list-style-type: none"> ・質問の種相の理解 ・閉じられた・開かれた質問 		
5	沈黙の活用	2	<ul style="list-style-type: none"> ・技法の実践(演習) 意味ある沈黙とは 沈黙による自己ならびに相手の内面を量る 		
後期中間試験					
6	中間試験ふりかえり グループワーク	2	<ul style="list-style-type: none"> ・中間試験のふりかえり ・「新聞ジグソー」と「レターカウンセリング」：グループ討議とコンセンサスを学ぶ 		
7	アサーショントレーニング	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ABC理論について 受信と処理と送信機能 ・アサーティブネス DESC法 ・「レアで食べたかったのに・・・」(演習) 		
8	SST	6	<ul style="list-style-type: none"> ・認知行動療法とSST(社会生活技能訓練)について ・SSTについて視聴覚教材から学ぶ ・SSTの実際(演習) 		
9	総合演習 まとめ	2	グループワーク「かぐやひめを捜せ」課題解決発表とシェアリング		
学年末試験					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					

30			
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	コミュニケーションモデルの理解，傾聴・質問技法の体験を通して聴く事，伝えることの大切さがわかる。グループワークから仲間意識を高めることができ，技術者がチームを組んで仕事をする上での重要なスキル獲得等を学習・教育目標のA-1の達成とする。		
成績評価	2回の定期試験の成績(50%)と授業への取り組む姿勢(30%)，授業出席(20%)との100点満点で，合計の6割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする。		
教材	・教科書，補助教材：未定 選定でき次第知らせる。・プリントを配布する		
オフィスアワー	質問などがある場合は，授業の前後に対応します。		